

セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名: 蕨市民公園セミ観測

担当: 新庄 秀克

連絡先:

調査実施場所: 蕨市民公園【エリアA】

住所: 埼玉県蕨市塚越5-1

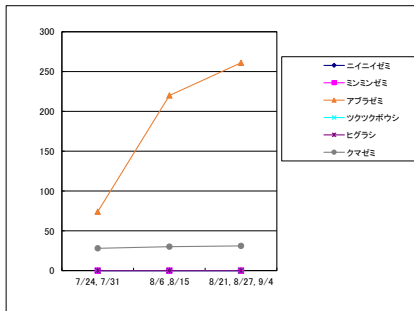
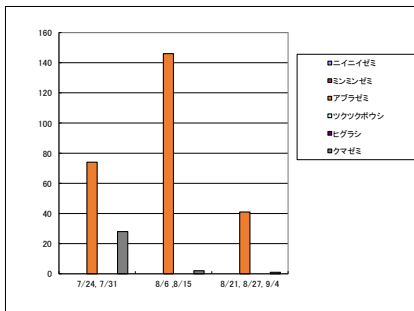
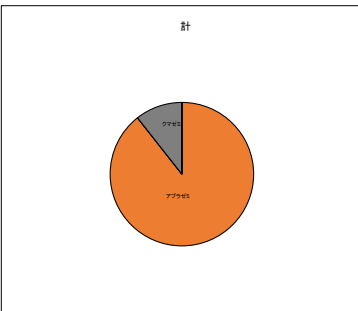
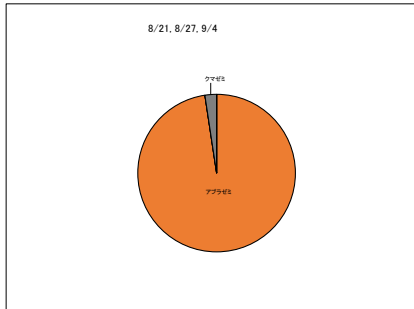
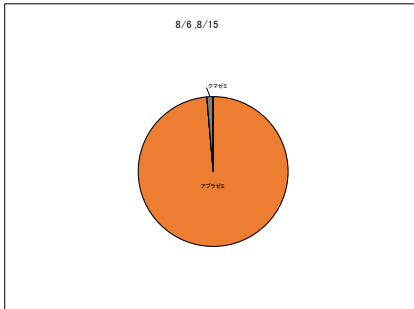
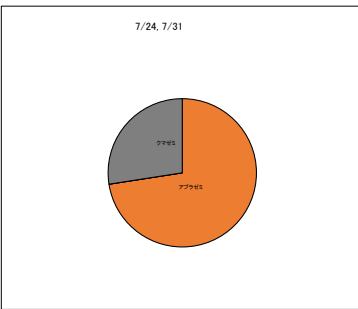
ホームページ:

調査場所の環境:

周辺の環境	クリックして選択 平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
主な植生: クロガネモチ	

調査結果: 部分は自動計算されますので入力しないでください。 ニイニイゼミのみ♀雄別は不要(任意で入力できます)

調査日	7/24, 7/31					8/6, 8/15					8/21, 8/27, 9/4					計				
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計	
ニイニイゼミ					0					0					0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ					0					0					0	0	0	0	0	0
アブラゼミ		60	14		74		62	84		146		9	32		41	131	130	0	261	
ツクツクボウシ					0					0					0	0	0	0	0	0
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0	0
クマゼミ		18	10		28		1	1		2		0	1		1	19	12	0	31	
					0					0					0	0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0	0
計		78	24	0	102		63	85	0	148		9	33	0	42	150	142	0	292	



蕨市民公園セミ抜け殻採取場所



セミの抜け殻調査報告書2011

調査者(団体)名: 廣市民公園セミ殻調査

担当: 新庄 秀克  
記録: 堀内伸一郎

連絡先:

調査実施場所: 廣市民公園【サイトA】  
住所: 埼玉県廣市塚越5-1  
ホームページ:

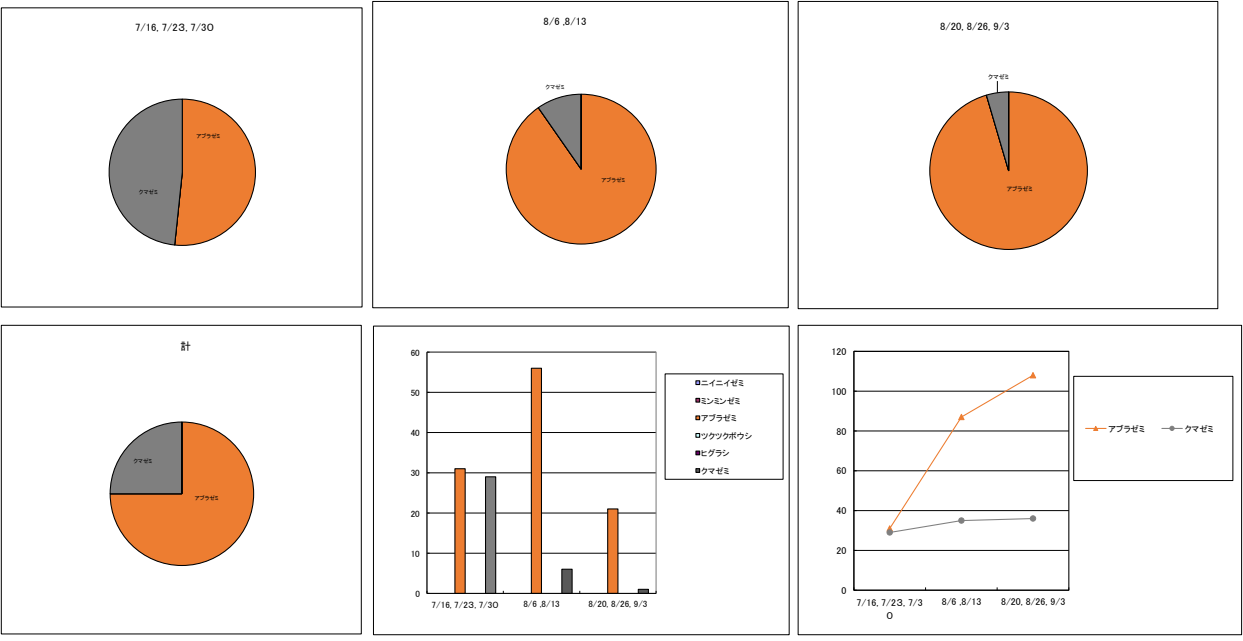
調査場所の環境:

周辺の環境	クリックして選択
調査場所の様子	平地
調査場所の地面	都市公園
主な植生:クログナモチ	土が露出

調査結果: ■ 部分は自動計算されますので入力しないでください。 ■ ニイニイゼミのみ♀雄別は不要(任意で入力できます)

調査日	7/16, 7/23, 7/30					8/6, 8/13					8/20, 8/26, 9/3					計				
	調査時間	6:30 ~ 7:30				調査時間	6:30 ~ 7:30				調査時間	6:30 ~ 7:30								
調査参加人数	5-6名				調査参加人数	5-6名				調査参加人数	5-6名									
天気																				
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計	
ニイニイゼミ					0					0					0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ					0					0					0	0	0	0	0	0
アブラゼミ		30	1		31		23	33		56		0	21		21	53	55	0	108	
ツクツクボウシ					0					0					0	0	0	0	0	0
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0	0
クマゼミ		15	14		29		2	4		6		0	1		1	17	19	0	36	
					0					0					0	0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0	0
計		45	15	0	60		25	37	0	62		0	22	0	22	70	74	0	144	

気づいたこと・感想など:(一) 脱落定数をみる。  
 前年と比べアブラゼミが激増し脱落数は増加しているがクマゼミは逆に減少している。クマゼミ比率は10%から28%へ上昇した。 近い来市の気象はセミの出る時期に3度大きく低下している。平均でも昨年より17度低い。セミの出も遅い。  
 抜け殻の状態でクマゼミの抜け殻が多いのはアブラゼミと比べ脱落率に違いがあるのか、天候への対応が違いがあるのか。クマゼミがアブラゼミに先行して出てくる。またアブラゼミが先行し脱落率を上げる。  
 クログナモチの根元でクマゼミの抜け殻が多く取れるがここは雑音が多い所ではない。近くのクマゼミなどの高い所で鳴いている。 廣市民公園ではミンミンゼミとクマゼミは混み分けておらず毎朝合唱している。  
 2010年との比較は別紙の通り。  
 クマゼミの抜け殻が取れなくなって1ヶ月後の9月18日現在クマゼミは鳴いている。羽化後の寿命は12日以上あるのか。



資料提供: セミの抜け殻調査市民ネットワーク

### セミの抜け殻調査報告書2012

■部分を入力 ■ニイニゼミのみ♀性別は不要(任意で入力できます)

■プルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2012
都道府県名	埼玉県
調査地名	埼玉県蕨市塚越5-1
サイト名	蕨市民公園 A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
担当者	新庄 秀克、堀内 伸一郎
再検者	新庄 秀克

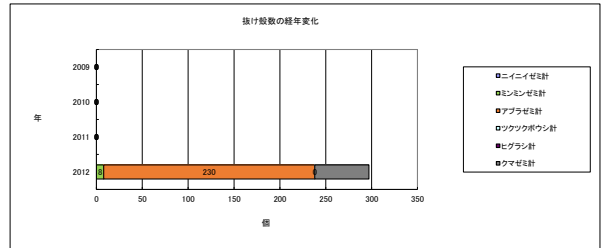
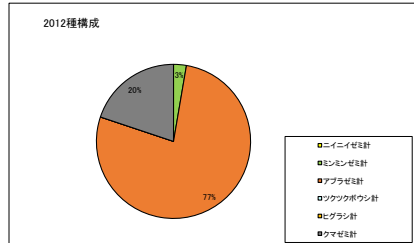
担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	クロガネモチ、サクラ(ソメイ)、マデバシイ、カツラ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人4 中学生 小学生 幼児

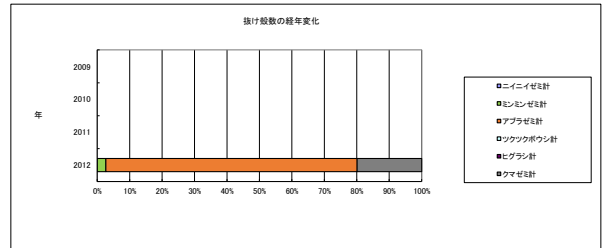
種	♀	♂	7/21	7/28	8/5	8/11	8/19	8/25	9/1	9/8	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
ミンミンゼミ	計	0	0	0	5	0	0	0	3	0	0	0	8
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	0	9	17	46	24	16	13	1	2	0	0	122
アブラゼミ	♂	0	5	10	37	35	16	2	3	0	0	0	108
アブラゼミ	計	3	22	56	61	51	29	3	5	0	0	0	230
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	2	5	14	10	2	3	0	0	0	0	0	36
クマゼミ	♂	0	0	12	7	3	1	0	0	0	0	0	23
クマゼミ	計	2	5	26	17	5	4	0	0	0	0	0	59
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	27	82	83	56	33	6	5	0	0	0	297

	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	8	0	0	0
アブラゼミ計	230	0	0	0
ツクツクボウシ計	0	0	0	0
ヒグラシ計	0	0	0	0
クマゼミ計	59	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0
総計	297	0	0	0

総計に自由入力は含まれていません  
自由入力に入力した場合には  
グラフのデータ範囲を修正してください。



コメント：(改行：ALT+ENTER)  
今年が発生が遅いようなイメージでしたが、データを比較すると例年とあまり差は無いようです。  
クマゼミは相変わらず公園事務所前のクロガネモチが主な発生地点です。蕨市民公園では何回かに  
分けて緑化が行われたとの情報があり、クロガネモチが持ち込まれた時期が関係している可能性が  
あります。また、わずかながらサイトB、サイトCでもクマゼミの抜け殻が見つかっており、今後そちらの  
サイトでもクマゼミが優勢になっていくのか、棲み分け状態が続くのか興味があります。



### セミの抜け殻調査報告書2013

■ 部分を入力 ■ ニイニゼミのみ♀性別は不要(任意で入力できます)

■ プルダウンから選択

■ 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除しないでください。

年度	2013
都道府県名	埼玉県
調査地名	埼玉県蕨市塚越5-1
サイト名	蕨市民公園サイトA
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
担当者	新庄 秀克、堀内 伸一郎
再検者	新庄 秀克

担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	Hidekatsu.Sirjou@mail.penta-ocean.co.jp

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	クロガネモチ、サクラ(ソメイ)、マデバシイ、カツラ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人3 中学生 小学生 幼児

種	♀	7/20	7/26	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31	9/7	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	75	20	17	18	0	6	1	1	0	0	138
アブラゼミ	♂	18	29	40	38	4	6	0	1	0	0	136
アブラゼミ	計	93	49	57	56	4	12	1	2	0	0	274
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	45	2	1	7	0	1	0	1	0	0	57
クマゼミ	♂	14	7	6	2	0	1	0	0	0	0	30
クマゼミ	計	59	9	7	9	0	2	0	1	0	0	87
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		152	58	64	65	4	14	1	3	0	0	361

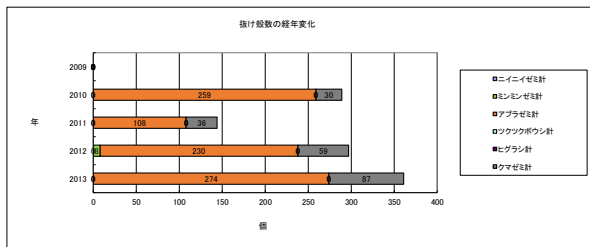
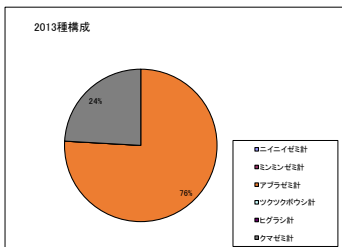
	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	0	8	0	0	0
アブラゼミ計	274	230	108	259	0
ツクツクボウシ計	0	0	0	0	0
ヒグラシ計	0	0	0	0	0
クマゼミ計	87	59	36	30	0
(自由入力)	0	0	0	0	0
総計	361	297	144	289	0

総計に自由入力は含まれていません

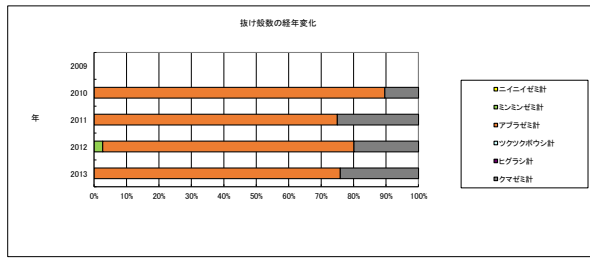
自由入力に入力した場合には

グラフのデータ範囲を修正してください。

クマ率	24.1%	19.9%	25.0%	10.4%
-----	-------	-------	-------	-------



コメント：(改行：ALT+ENTER)  
 冬にクロガネモチの枝が極端に剪定されたが影響はそれほどでもなく総数は昨年より増加した。  
 (但しサイトB、Cに比べ増加率は低い。)  
 数年先に影響があるか見守りたい。  
 クマゼミの総数も増え比率も昨年より上がっている。  
 照り返しが強い場所でクマゼミの比率が高く2013年はアブラゼミ、クマゼミ以外は見つからなかった。



コメント：(改行：ALT+ENTER)  
 全体は前年の2倍になっているがこれはサイトBのアブラゼミ、ミンミンゼミが極端に増えたため。  
 クマゼミは初年度から毎年増え続けているが2013年は上記理由でクマ率は下がった。  
 クマゼミの鳴き声は市民公園以外でも聞こえるようになってきている。  
 今まで注目していなかったがミンミンゼミも少ないながらクマゼミ以上の伸びを示している。  
 初日の採集数が例年より多く羽化が早く始まっていると考えられる。(添付週別グラフ)  
 2倍に増えた理由は梅雨明けが早かったことに関係があるかもしれない。

セミの抜け殻調査報告書2014

■部分を入力 ■ニイニゼミのみ♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■フルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

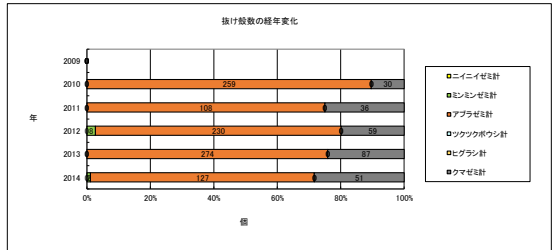
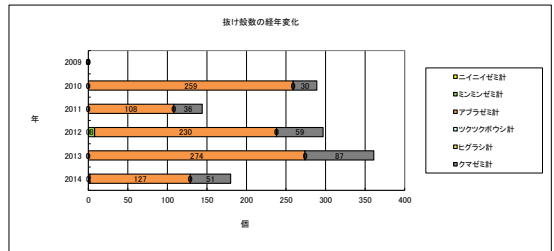
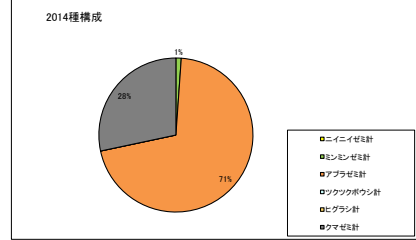
列や行は削除はしないでください。

年度	2014
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市塚越5-1
サイト名	蕨市民公園 A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
担当者	堀内伸一郎（報告者） 関野孝
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	クログナモチ ツツジ クチナシ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 2 中学生 小学生 幼児

日照・照り返しが強い

種	♂♀	7/20	7/26	8/02/	8/9	8/16	8/23	8/30	9/6	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
ミンミンゼミ	計	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	12	25	19	9	5	3	1	0	0	0	74
アブラゼミ	♀	0	11	20	6	10	4	2	0	0	0	53
アブラゼミ	計	12	36	39	15	15	7	3	0	0	0	127
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	8	7	3	0	5	0	0	0	0	0	23
クマゼミ	♀	1	7	15	4	1	0	0	0	0	0	28
クマゼミ	計	9	14	18	4	6	0	0	0	0	0	51
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		21	51	57	19	22	7	3	0	0	0	180



	2014	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	2	0	8	0	0	0
アブラゼミ計	127	274	230	108	259	0
ツクツクボウシ計	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ計	0	0	0	0	0	0
クマゼミ計	51	87	59	36	30	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0
総計	180	361	297	144	289	0

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
 採集総数は2010年調査開始以来最少であった。  
 ☆昨年の約1/3(昨年が異常値?)  
 梅雨明けが遅かったことや気温・降雨量との関係があったかもしれない。  
 クマゼミの数は昨年より減少したが比率は過去最高になった。  
 ☆サイトA=28.3% サイトB+C合計=10.2%  
 ミンミンゼミの比率も年々上がっているがクマゼミの多いサイトAではミンミンゼミはほとんどいない。  
 今年初めてツクツクボウシの抜け殻が見つかった。  
 (堀内伸一郎)

### ゼミの抜け殻調査報告書2015

■部分を入力 ■ニイニゼミのみ♀鑑別は不要(任意で入力できます)

■フルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2015
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
担当者	堀内 岡野孝 伊東理恵 泰寿 姜那
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたゼミ	
調査地の主な樹木	クロガネモチ ツツジ クチナシ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 3 中学生 小学生 2 幼児

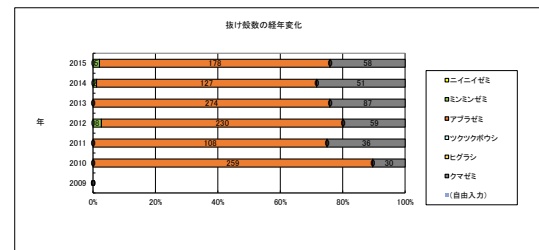
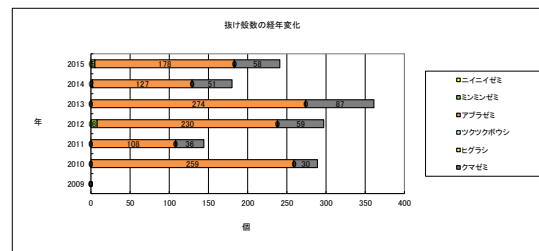
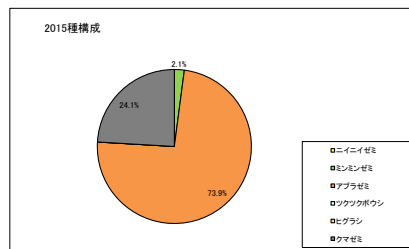
種	♀	♂	7/19	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29	9/5	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ミンミンゼミ	♂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	34	28	10	4	2	1	0	0	0	0	0	79
アブラゼミ	♂	11	21	17	27	14	8	1	0	0	0	0	99
アブラゼミ	計	45	49	27	31	16	9	1	0	0	0	0	178
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	12	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	17
クマゼミ	♂	11	14	7	4	2	2	1	0	0	0	0	41
クマゼミ	計	23	18	7	4	3	2	1	0	0	0	0	58
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		73	67	34	35	19	11	2	0	0	0	0	241

集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241
クマゼミ		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
クマゼミは58と昨年の51より増えたがアブラゼミの増え方が大きかったので比率は28.3%から24.1%に下がった。  
夏休みの毎週土曜日計8回調査しているが初日の採集数は39.3%と2013年の51.1%に次ぐ高さになっている。これはゼミの羽化が早かったことを示しているがサイトBではそれほど顕著な差は見られない。

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
サイトA  
クマゼミは58と昨年の51より増えたがアブラゼミの増え方が大きかったので比率は28.3%から24.1%に下がった。  
サイトB  
総数は2013年に次いで多い870となった。クマゼミは年々増えており42種、4.8%ともに過去最高値  
初年度2010年がゼロだったことから約100m離れたサイトAから拡散していることが考えられる。  
総数  
2015年の総数、クマゼミ数は103と2013年に次ぐ高さであり比率も8.7%と上昇傾向だが、アブラゼミが極端に少なかった昨年の10.2%よりは下がっている。夏休みの毎週土曜日計8回調査しているがサイトAでは初日の採集数は39.3%と2013年の51.1%に次ぐ高さになっている。これは例年に比べゼミの羽化が早かったことを示しているがサイトBではそれほど顕著な差は見られない。また日当たりのよいサイトAでサイトBよりゼミの羽化が早くなっている。



### セミの抜け殻調査報告書2016

■ 部分を入力 ■ ニイニゼミのみ♀性別は不要(任意で入力できます)

■ ブルダウンから選択

■ 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

年度	2016
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
主担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみ聞いたセミ	ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	クログナネモチ
調査地関連HP	<a href="http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/pase000004000/hpa000003955.htm">http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/pase000004000/hpa000003955.htm</a>
調査参加者数	大人 4 中学生 1 小学生 1 幼児

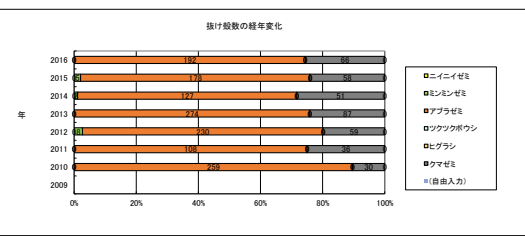
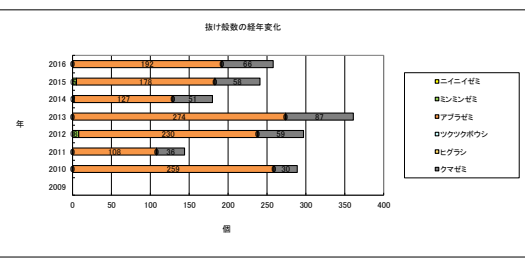
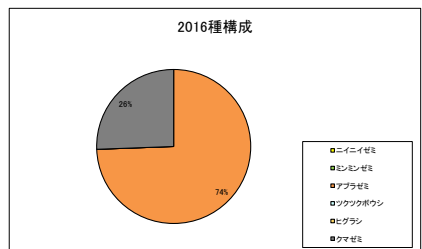
伊東理暎 泰冨 晏那 高清水 橋山

種	♀	♂	7.16	7.24	7.31	8.06	8.14	8.20	8.27	9.03	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	32	29	26	2	4	1	0	0	0	0	0	94
アブラゼミ	♂	2	36	41	8	8	0	0	3	0	0	0	98
アブラゼミ	計	34	65	67	10	12	1	0	3	0	0	0	192
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	27	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	32
クマゼミ	♂	5	19	7	0	0	1	0	2	0	0	0	34
クマゼミ	計	32	23	8	0	0	1	0	2	0	0	0	66
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		66	88	75	10	12	2	0	5	0	0	0	258

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	8	0	2	5	0	0
アブラゼミ	259	108	230	274	127	178	192	0
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	30	36	59	87	51	58	66	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	289	144	297	361	180	241	258	0
クマ率	10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	0

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
例年通り他のサイトに比べセミの出が早い。

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
2016年のクマ率(ABC合計)は10.2%と2016年に並ぶ過去最高記録。  
A:初日から多く採集されている。クマゼミ比率も高い。  
B:初日はほとんど採集されていない。日割条件の差と思われる。  
6月8日において採集に当たっているがこの週の日数が8日と前週7日、次週9日に比べ1-2日少ない。  
セミの採集を集めているグループがいるという話を聞いたが確認できていない。  
台風や大雨の影響も考えられる。



### セミの抜け殻調査報告書2017

● 部分を入力 ● ニイニイゼミのみ登録は不要(任意で入力できます)  
 列や行は削除はしないでください。

■ プルダウンから選択

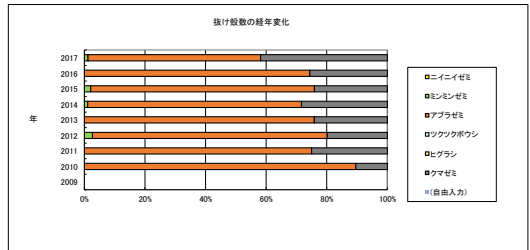
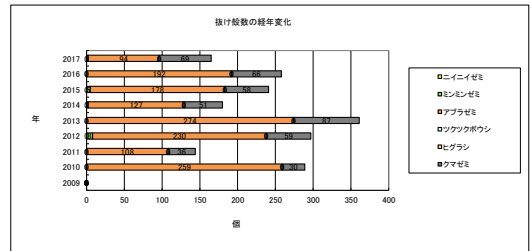
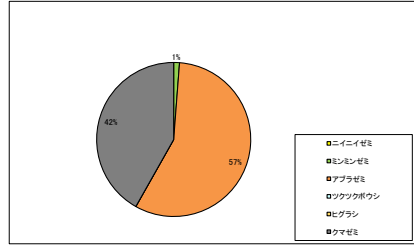
● 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

年度	2017
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	クロガネモチ ツツジ
調査地関連HP	<a href="http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/page000004000/hpa000003955.htm">http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/page000004000/hpa000003955.htm</a>
調査参加者数	大人 5 中学生 1 小学生 2 幼児

NACOT会員 3  
 蕨市民 6

種	♀	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	/	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	10	21	3	10	0	1	0	0	0	45
アブラゼミ	♀	0	0	11	16	15	2	3	2	0	0	49
アブラゼミ	計	0	10	32	19	25	2	4	2	0	0	94
ツツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	2	14	11	0	0	0	0	0	0	0	27
クマゼミ	♀	0	0	36	5	1	0	0	0	0	0	42
クマゼミ	計	2	14	47	5	1	0	0	0	0	0	69
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	24	79	24	26	3	4	2	0	0	165



#### 集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94
ツツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165
クマ率		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%

#### コメント:(改行:ALT+ENTER)

8/12: 8月12日現在クマ数は69と昨年を上回りクマ率は43.4% (過去最高) となっている。  
 ピークは過ぎた感じなので過去最高のクマ率になる可能性大。一方でアブラ数は半減。  
 8/19: 7月猛暑でクマゼミは増えた。アブラは8月の雨続きで減ったか?  
 9/26: クマ率41.8%と高率をキープ。  
 9/2: 今週採集数=0になった。クマゼミ69は昨年を上回り、8年間で2番目に多い。アブラは過去最低。  
 クマ率は41.8%とダントツの過去最高。

#### コメント:(改行:ALT+ENTER)

7/8: 今年から開始時期を1週早めた。(セミの羽化が早まったため。)  
 今年の参加メンバー: 伊東親子3人、柿山、小林、堀内  
 8/5: 蕨東公民館セミの抜け殻観察教室に参加した小1男児仲村親子が参加。(堀内欠席)  
 8/12: 台風の後。雨の翌日。ピーク過ぎたか?。8月12日現在クマ数98昨年越え、クマ率19.6%過去最高  
 8/19: 夕方からのすごい雷雨。せみは天気が予測できるのか?  
 8/26: 天気、気温回復が遅れていたのが出てきた?クマ率=17.3% (過去最高キープ)  
 妻那ちゃん情報: 南町大荒田交通公園でクマゼミの抜け殻発見。蕨市民公園から拡散か?  
 9/2: 雨の中最終日の採集。鳴き声聞こえず。11時過ぎミンミン、クマゼミの声確認  
 クマ数=100は過去3番目、アブラ数=481は過去最低、クマ率=16.8%は過去最高を大きく更新。  
 今年参加の仲村聡恭くん(小1)がハケ岳でエンゼミ、エゾハルゼミ、水元公園でニイニイとツツクを採集。



### セミの抜け殻調査報告書2018

● 部分を入力    ■ ニイニゼミのみ登録は不要(任意で入力できます)    ■ ブルダウンから選択    ● 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2018
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	その他( )
主担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

日光直射・コンクリート

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	クロガネモチ ツツジ クチナシ クズ
調査地関連HP	<a href="http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/page000004000/hp/000003955.htm">http://www.city.warabi.saitama.jp/hp/page000004000/hp/000003955.htm</a>
調査参加者数	大人 5 中学生 1 小学生 2 幼児

種	♀	♂	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25	9/1	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ミンミンゼミ	計	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	29	19	23	0	0	5	0	0	0	0	0	76
アブラゼミ	♀	9	30	12	0	4	2	0	1	0	0	0	58
アブラゼミ	計	38	49	35	0	4	7	0	1	0	0	0	134
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	13	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	17
クマゼミ	♀	4	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	14
クマゼミ	計	17	9	0	0	4	1	0	0	0	0	0	31
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			55	59	36	0	9	8	0	1	0	0	168

#### 集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	昨年比
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150%
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	143%
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	45%
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102%
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	
クマゼミ		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%	18.5%	

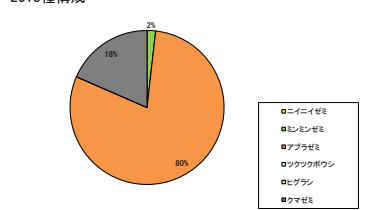
#### コメント：(改行：ALT+ENTER)

昨年比  
クマゼミが△55%と大幅に減少。  
アブラゼミの増加によりクマゼミは41.8%→18.5%に減少するも他サイトに比べ高い水準。  
アブラゼミが43%増と回復。昨年のアブラゼミが異常に少ない。  
クマゼミ、アブラゼミとも昨年より羽化時期が早い。  
2018年は梅雨明けが記録的に早くさらに気温も2013年をしのぐ記録的猛暑だったがクマゼミは大幅減少。  
クマゼミは南方系のセミだが35℃を超えるような猛暑には弱いかもしれない。  
クマゼミの生活史が8年という研究報告があり8年前の2010年(調査開始年)の羽化数が少なかったため2018年の羽化数が減ったか。

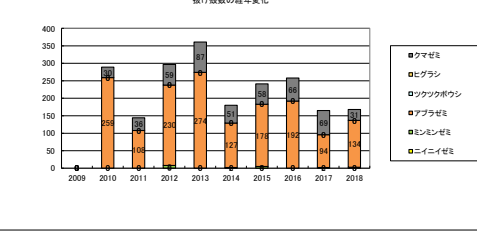
#### コメント：(改行：ALT+ENTER)

昨年比  
クマゼミは41%減少。過去3番目に少ない。  
アブラゼミの増加との影響もありクマゼミは16.8%→5.8%と急落。過去2番目の低さ。  
アブラゼミは95%増。  
2013年も記録的猛暑だったがアブラゼミ、クマゼミとも大幅に増加した。  
2018年は梅雨明けが記録的に早くさらに気温も2013年をしのぐ記録的猛暑だったがクマゼミは大幅減少。  
クマゼミは南方系のセミだが35℃を超えるような猛暑には弱いかもしれない。  
クマゼミの生活史が8年という研究報告があり8年前の2010年(調査開始年)の羽化数が少なかったため2018年の羽化数が減ったか。  
アブラゼミの生活史が6年とすると来年はアブラゼミが2013年のように高い数値を示すか興味深い。  
剪定や天気、食害等の影響も考えられ増減の特定は難しい。

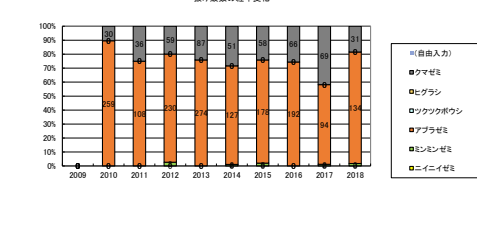
#### 2018種構成



#### 抜け殻数の経年変化



#### 抜け殻数の経年変化



### ゼミの抜け殻調査報告書2019

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■フルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

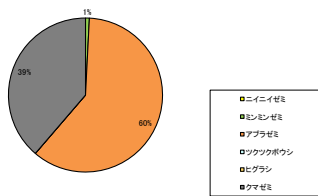
列や行は削除はしないでください。

年度	2019
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

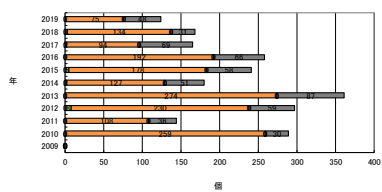
調査地参考情報	
声のみを聞いたゼミ	
調査地の主な樹木	クログネモチ ツツジ クチナシ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 6 中学生 小学生 3 幼児
堀内伸一郎 伊東美那 理映 仲村聡恭 美和 鎌田瑞葉 成田萌子 柿山満男 北条	

種	♀	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	0	1	11	23	9	1	2	1	0	0	48
アブラゼミ	♀	0	0	1	8	10	5	3	0	0	0	27
アブラゼミ	計	0	1	12	31	19	6	5	1	0	0	75
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	2	1	15	2	2	0	0	0	0	22
クマゼミ	♀	0	0	3	16	6	1	0	0	0	0	26
クマゼミ	計	0	2	4	31	8	3	0	0	0	0	48
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	3	16	62	28	9	5	1	0	0	124

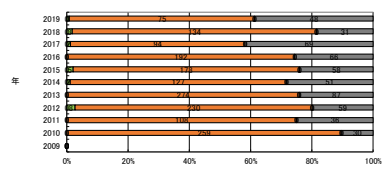
2019種構成



抜け殻数の経年変化



抜け殻数の経年変化



集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	1
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	75
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	48
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	124
クマ率		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%	18.5%	38.7%

コメント：(改行：ALT+ENTER)

アブラゼミは前年比▲44%の大幅減で過去最低値。クマゼミは+55%。  
クマ率38.7%は2017年の41.8%に次ぎ過去2番目に高い。  
梅雨明けが昨年より1か月遅いことによりクマゼミの羽化が3週間遅かった。  
消防署建て替えにより一部が消防車置き場になったが入場許可を取得し採集には影響はなかった。  
(羽化に対する影響は不明)  
L字型のサイトで周囲がコンクリートで照り返しが強い。

コメント：(改行：ALT+ENTER)

ABC計では昨年比微増。クマの増加+50（ほぼ倍増）が主な要因。A=+17、B=+30、C=+3。  
クマ率は2017に次ぐ高率。  
昨年は6月29日梅雨明け後日最高気温が連日35°Cを超える酷暑が続いた。  
今年は7月29日の梅雨明けと約1か月遅くゼミの出も2-3週間遅かった。

### セミの抜け殻調査報告書2020

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2020
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ヒグラシ ツクツク
調査地の主な樹木	クログナモチ ツツジ クチナシ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 5 中学生 1 小学生 1 幼児
	堀内伸一郎 伊東晏那 理映 仲村聡恭 美和
	成田萌子 柿山満男

種	♀	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/28	9/4	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	2	0	3	4	10	0	3	2	24
アブラゼミ	♀	0	0	5	8	11	2	1	4	31
アブラゼミ	計	2	0	8	12	21	2	4	6	55
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	7	1	2	0	0	0	10
クマゼミ	♀	0	0	7	3	7	0	0	0	17
クマゼミ	計	0	0	14	4	9	0	0	0	27
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	0	22	16	30	2	4	6	82

集計表

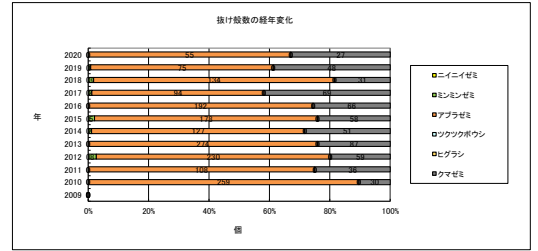
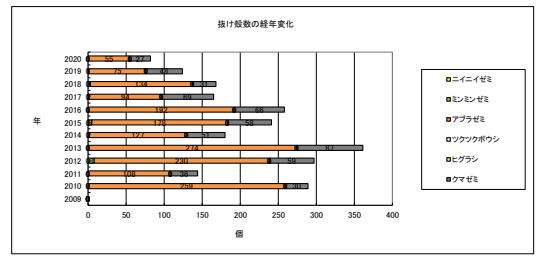
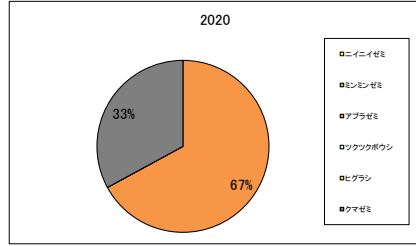
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	1	0
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	75	55
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	48	27
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	124	82

クマ率

10.4% 25.0% 19.9% 24.1% 28.3% 24.1% 25.6% 41.8% 18.5% 38.7% 32.9%

コメント：(改行：ALT+ENTER)

クマゼミ、アブラゼミとも減少。  
クマ率はやや下がるも高いレベルをキープ。



### セミの抜け殻調査報告書2021

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

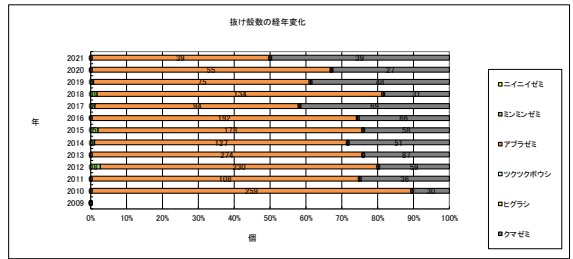
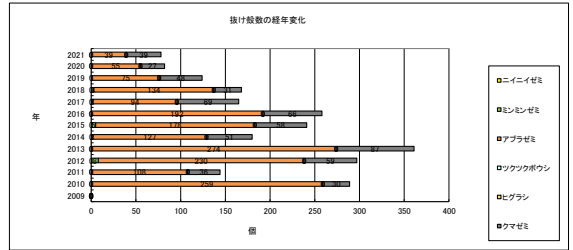
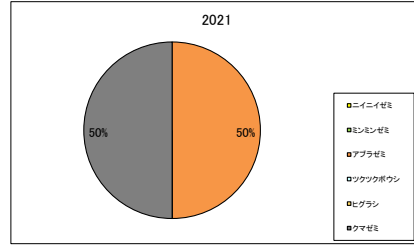
列や行は削除はしないでください。

年度	2021
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
主担当者	堀内伸一郎
再検者	堀内伸一郎

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	クワガタムシ アブラゼミ クワガタムシ ヌズリハ クワ
調査地関連HP	<a href="https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html">https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html</a>
調査参加者数	大人 3 中学生 小学生 幼児

岡部龍彦(7/10,17) 伊東理映(7/31,8/7) 堀内伸一郎

種	♀	♂	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28	9/4	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	4	8	5	1	0	0	0	0	0	18
アブラゼミ	♂	0	5	9	5	2	0	0	0	0	21
アブラゼミ	計	4	13	14	6	2	0	0	0	0	39
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	7	8	1	0	0	0	0	0	0	16
クマゼミ	♂	6	10	4	2	0	1	0	0	0	23
クマゼミ	計	13	18	5	2	0	1	0	0	0	39
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		17	31	19	8	2	1	0	0	0	78



集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	1	0	0
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	75	55	39
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	48	27	39
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	124	82	78
クマ率		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%	18.5%	38.7%	32.9%	50.0%

コメント：(改行：ALT+ENTER)

2021年度はじめてクマ率が50%に到達。  
アブラゼミの減少傾向が顕著。

### セミの抜け殻調査報告書2022

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀鑑別は不要（任意で入力できます） ■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。  
 ■フルダウンから選択

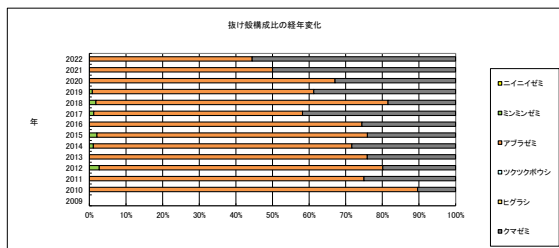
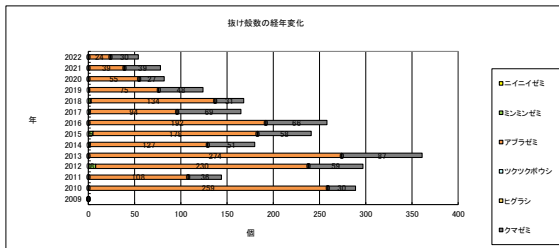
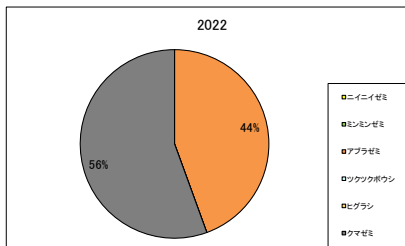
列や行は削除はしないでください。

年度	2022				
都道府県名	埼玉県				
調査地名	蕨市民公園				
サイト名	A				
周辺の環境	平地				
調査場所の様子	都市公園				
調査場所の地面	土が露出				
担当者	堀内伸一郎				
再検者	堀内伸一郎				

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ニイニゼミ ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	A クロガサキ アザミ B ヲウゴン マハコイ アザミ ヒイラギ
調査地関連HP	<a href="https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html">https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html</a>
調査参加者数	大人 2 中学生 小学生 幼児

伊東理映 堀内伸一郎

種	♀	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27	/	/	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	0	4	5	1	0	2	0	0	0	0	12
アブラゼミ	♀	0	1	1	6	2	1	0	1	0	0	12
アブラゼミ	計	0	5	6	7	2	3	0	1	0	0	24
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	1	4	7	4	0	1	0	0	0	0	17
クマゼミ	♀	0	2	6	4	1	0	0	0	0	0	13
クマゼミ	計	1	6	13	8	1	1	0	0	0	0	30
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1	11	19	15	3	4	0	1	0	0	54



#### 集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	1	0	0	0
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	75	55	39	24
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	48	27	39	30
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	124	82	78	54
クマ率		10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%	18.5%	38.7%	32.9%	50.0%	55.6%
ミン率		0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	1.1%	2.1%	0.0%	1.2%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%

コメント：(改行：ALT+ENTER)

クマ率は55.6%と過去最高を2年連続更新。  
アブラゼミの減少傾向は変わらず。

セミの抜け殻調査報告書2023

■部分を入力 ■ニイニゼミのみ※鑑別は不要（任意で入力できます）

■ブルダウンから選択

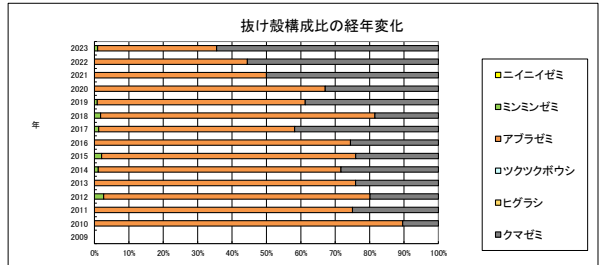
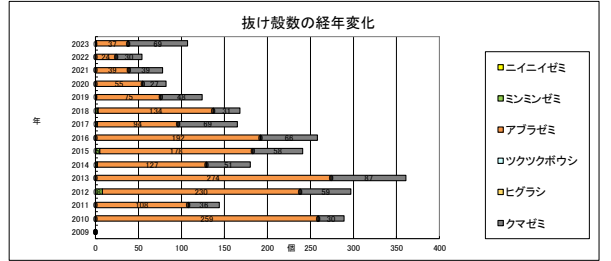
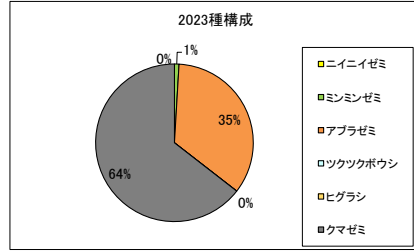
■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2023
都道府県名	埼玉県
調査地名	蕨市民公園
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	土が露出
主担当者	堀内伸一郎（ホーリー）
再検者	堀内伸一郎（ホーリー）

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	A クロガ 緑アジ ｱﾌﾞﾗ ｸﾗ ｸﾗｼ
調査地関連HP	<a href="https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html">https://www.city.warabi.saitama.jp/shisetsu/kouen/1003696.html</a>
調査参加者数	大人 7 中学生 1 小学生 3 幼児 1

種	♀	7.08	7.15	7.22	7.29	8.05	8.12	8.19	8.26	/	/	計
		7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26			
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂											
ミンミンゼミ	♀											1
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂			12	3	1	0	0	1	0	0	17
アブラゼミ	♀			0	4	7	6	1	2	0	0	20
アブラゼミ	計	0	0	16	10	7	1	2	1	0	0	37
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂		3	22	4	1	0	0	0	0	0	30
クマゼミ	♀		1	12	15	3	3	4	1	0	0	39
クマゼミ	計	0	4	34	19	4	3	4	1	0	0	69
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	4	50	29	11	4	7	2	0	0	107



集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	8	0	2	5	0	2	3	1	0	0	0	1
アブラゼミ	0	259	108	230	274	127	178	192	94	134	75	55	39	24	37
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	30	36	59	87	51	58	66	69	31	48	27	39	30	69
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	289	144	297	361	180	241	258	165	168	124	82	78	54	107
クマ率	#DIV/0!	10.4%	25.0%	19.9%	24.1%	28.3%	24.1%	25.6%	41.8%	18.5%	38.7%	32.9%	50.0%	55.6%	64.5%
ミン率	#DIV/0!	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	1.1%	2.1%	0.0%	1.2%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%

コメント：(改行：ALT+ENTER)クマゼミ増によりクマ率アップ。